

矢島中学校の「三道教育」について

1 書 道

◇ね ら い◇ 字形を整えてじょうずに書くことだけでなく、作品を仕上げていく過程での集中力や自分らしさの表現などを培うことができる。

◇実施時期◇ 令和7年6月に2回

◇対 象◇ 全校生徒 計66名（1年生17名、2年生26名、3年生23名）

◇実施内容◇

(1)担当講師 三 森 ハ マ 先生 三 浦 芳 文 先生 佐々木 邦 子 先生
黒 木 勢津子 先生 秋 山 由美子 先生

(2) 課 題 全県席書大会に出品する各学年ごとの課題

(3) 日 程 講師の先生の紹介と諸注意（5分）
書写（50分）
作品提出 ふりかえり記入（10分）
生徒による謝辞（5分）
後片付け（10分）

2 剣 道

◇ね ら い◇ 矢島中学校の伝統である、礼節の精神を大切にすると共に、強い精神、連帯意識を身につけ、自己指導能力を養う。

◇実施日時◇

(1)【修錬の刻】 8：10～
第一歩黙想の刻 5～10月間の最終金曜を基本として実施
第二歩入魂の刻 10月下旬～11月中旬の毎週金曜に実施

(2)【保健体育科授業】 10月14日（火）～11月14日（金）

(3)【全校剣道大会】 11月15日（土） 午後

◇対 象◇ 全校生徒 計66名（1年生17名、2年生26名、3年生23名）

◇実施内容◇

(1) 【修練の刻】

- 第一歩黙想の刻 ・全体指導・オリエンテーション
・全校生徒・職員による黙想と職員による講話
第二歩入魂の刻 ・全校生徒・職員による黙想
・木刀による素振り

(2) 【体育科授業】 ①基本技（面打ち、小手打ち、胴打ち）の練習 ②しかけ技・応じ技の練習
③稽古 ④木刀による矢島剣道形（1～5本目）

(3) 【校内剣道大会】 全校生徒を縦割り（3組）に編成して2部門で競う
①基本錬成の部（矢島剣道形） ②試合の部（男子7人戦・女子5人戦）

3 茶 道

◇ね ら い◇ ふるさと学習の一貫として、矢島生駒藩と遠州茶道とのつながりについて理解すると共に、茶道を通して人間性や社会性を培う。

◇実施日時◇ 第1回目：10月20日（月） 第2回目：10月27日（月）
〔2回とも午後1時45分～午後3時45分〕

◇会 場◇ 矢島町歴史交流館 道益園・八森苑 龍源寺

◇対 象◇ 1・2年生徒 全43名

◇主な講師◇ 遠州流茶道秋田東支部、工藤貴美子 氏 はじめ5名の会員の皆さん
・龍源寺住職 土屋泰順 氏

◇実施内容◇

(1) 第1回目【立礼席による茶会】

- ①講話：矢島と遠州流の関係、生駒家の歴史 ②茶会（全員が客となり、挨拶や作法を学ぶ）
③三役の体験（亭主、客、お運びの三役を交代で体験） ④点法（風炉薄茶棚点法）

(2) 第2回目【座礼による茶会】

- ①主にもてなし側の作法を学ぶ ②茶会（矢島高校茶道同好会特別参加 主客両方の体験）
③点法（風炉薄茶点法）